

「公共工事コスト削減対策に関する新行動指針」

【施策名：(1)工事コストの低減 ④技術開発の推進】

スラブ敷設時の調整器具を開発

事業名：鉄道事業（東北新幹線、九州新幹線）

概要：スラブ敷設時の調整器具（門形調整器）を開発

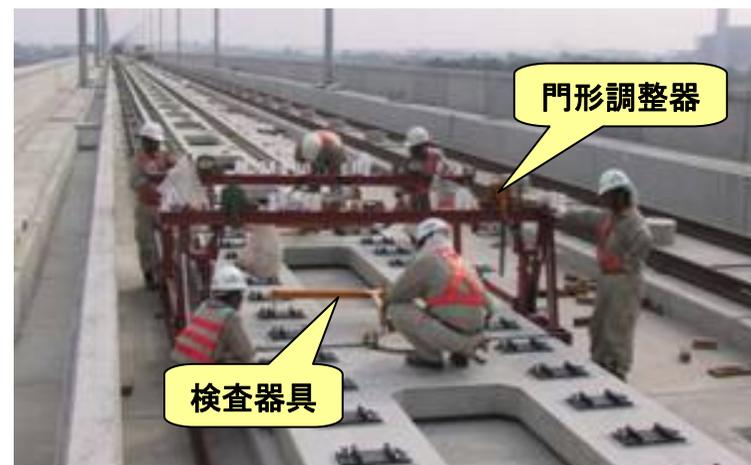
効果：① 門形調整器の使用により、施工性及び施工精度が改善
② 施工速度が向上し、工事費を7.5億円から5.7億円に縮減
（縮減額 1.8億円 縮減率 約24%）

（従来）



検査器具で、高低変位のチェックを行い、ジャッキで調整

（新）



門形調整器を用いることにより
施工精度、施工速度が向上